

WEEFINE

WF スマートハウジング WFH07X

10582

Fisheye

目次

【安全にお使いいただくために】	03
【事前チェック】	05
【仕様】	05
【各部名称】	06
【取扱準備】	
バキュームバルブキャップの取り付け	07
延長シャッターレバーの交換方法	07
【取扱方法】	
ハウジングの開閉	08
アプリケーションのインストール	08
充電方法	09
ハウジングの操作	09
スマートフォンのセット	09
ハウジングの電源を ON にする	10
バキュームシステム	10
スマートフォンの取り出し	11
DiveIT の機能	11
外部ライト	13
【メンテナンス】	
ご使用前に	14
ダイビング前のチェック	14
O リングのメンテナンス	15
使用後のメンテナンス	16

安全にお使いいただくために

- この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 誤った使い方をされると、故障や水没の原因となり、修理不能になる場合があります。
- ご使用の際にはこの説明書に従い必ず点検、テストを行ってください。
- スマートフォンの水没、故障、データの消失による補償や、分解、改造、修理に伴う事故などに関し、弊社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関する補償はいたしません。
- 本製品はアルミ削り出し工法により製作されております。そのため、多少の傷、切削目が見られる場合がありますが、動作には支障ありません。このような工法上のクレームはご容赦願います。

■ 安全上の注意

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- ⚠ 危険** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
- ⚠ 警告** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- ⚠ 注意** 取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

⚠ 危険

- 本製品の改造・分解は絶対におやめください。水没や発熱、発火の原因になります。
- 本製品を水中で使用の際は、水深や潜水時間に十分ご注意ください。水中撮影に没頭しすぎると重大な潜水事故につながる危険性があります

⚠ 警告

- 本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の安全上の注意について理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。落下によるケガ、Oリングによる窒息、小さな部品を飲み込むなど、事故の原因となります。
- 本製品を長期間使用されない時はスマートフォン本体を取り出してください。バッテリーのトラブルなどによる発火のおそれがあります。
- 本製品は樹脂製素材を使用しております。強い衝撃や圧迫によって破損した場合、破片や割れた部分によるケガをするおそれがあります。
- 本製品付属のOリングやグリスなどは食べられません。

! 注意

- 本製品は 80m の水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、浅い深度においても衝撃や圧迫を加えると、破損や浸水のおそれがあります。
- 浸水や故障などの事故を防ぐために、本製品の使用前には必ず点検とメンテナンスを実施してください。
- 気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、本体の破損や防水機能を損なうおそれがあります。
- 砂や塵、ほこりなどが多い場所でハウジングを開閉すると、異物が付着することで防水性能が損なわれ、浸水の原因となります。
- 飛行機で移動する場合などは、本体の O リングを外しておくことをおすすめします。気圧の変化でハウジングが開かなくなったり、その状態で無理に開こうとすることで本体の破損やケガをするおそれがあります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、破損や変形の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 万一、浸水が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、ハウジング内部の圧力が高くなっていることがあります。ハウジングを開ける際、水が噴き出したり、本体が跳ねたりするおそれがありますので、十分にご注意ください。
- 本製品の一部には樹脂製素材を使用しています。使用中に岩などにぶつけて強い衝撃を与えると破損するおそれがあります。
- ダイビングのエントリー方法によっては製品に衝撃を与え、浸水や破損の原因となります。とくにボートダイブではエントリー後に船上から手渡してもらうなど、エントリー時の取扱には十分注意してください。
- ハウジングを開閉する際、ほこりやゴミの付着に注意してください。O リングの破損から浸水が発生するおそれがあります。
- ご使用前には必ず O リングのメンテナンスを実施してください。とくにグリスアップを怠ると、O リングのねじれや劣化につながり、浸水するおそれがあります。
- ハウジングの内部をよく乾燥させた状態でご使用ください。水分が残っていると結露が発生するおそれがあります。使用環境、温度差、湿度により結露が発生する場合は、弊社製品の『FIX シリカシート』のご使用をおすすめします。
- ご使用前に直射日光の当たる場所に放置しないでください。ハウジング内部の温度が高くなった状態で水に浸けると、急激な温度変化により結露が発生するおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、バッテリーを 70% 程度にしておくことをおすすめします。
- バッテリーの寿命を持たせるために、6 ヶ月ごとに満充電にすることをおすすめします。

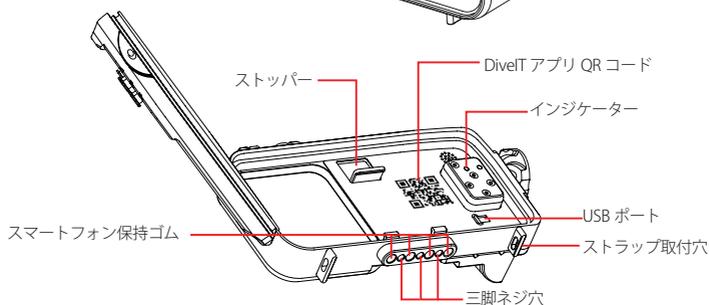
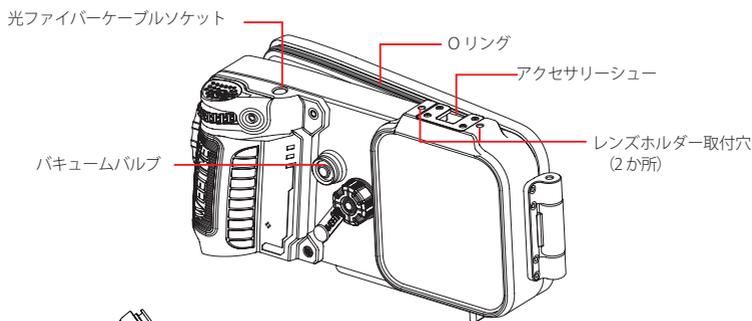
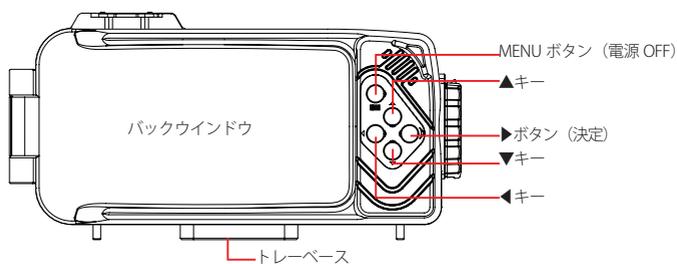
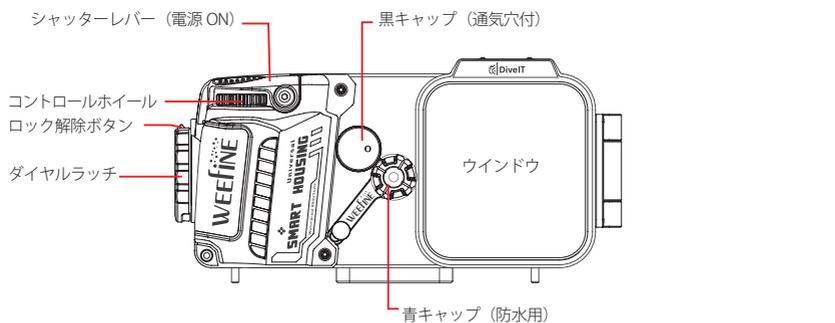
事前チェック

- 本製品を開梱する前に輸送時のダメージをご確認ください。もし大きなへこみなど梱包に異変があれば、お届けの配送業者あるいはご購入いただいた販売店にご連絡ください。
- すべてのハウジングは耐圧検査を実施のうえ出荷しておりますが、輸送時に何らかのトラブルが発生する場合があります。水中での使用前に、スマートフォンを装填しない状態で防水チェック実施を強くおすすめいたします。
- ご使用前に付属品がすべてそろっているかご確認ください。

仕様

対象スマートフォン	長さ 163mm × 幅 82mm × 厚さ 10mm 以下の iPhone および Android 端末 ※サイズ範囲内のスマートフォンであっても、レンズの位置とハウジングのレンズ窓との位置が合わない機種は使用できません ※すべての機種で動作を保証するものではありません
バッテリー	リチウムイオンバッテリー内蔵
充電時間	約 3 時間 (AC アダプターにより変化します)
充電方法	USB-TypeC ケーブル接続
連続使用時間	約 24 時間
材質	耐腐食アルミ合金、耐摩擦性ポリカーボネート
最大水深	80m
サイズ	W239 × H119 × D76mm
重量	1150g / 水中 : 100g
付属品	延長シャッターレバー、スペア O リング、O リングリムーバー、O リンググリス、USB Type-C ケーブル、スペア保持ゴム、星型レンチ、リストラナヤード、クリーニングクロス、キャリングバッグ、QR カード、保証カード

各部名称



取扱準備

■ バキュームバルブキャップの取り付け

注意！

1. 工場出荷時の状態

本製品は航空輸送品のため、バキュームバルブに黒キャップ（通気孔付）を取り付けて、ハウジング内外の圧力を均一にしています。

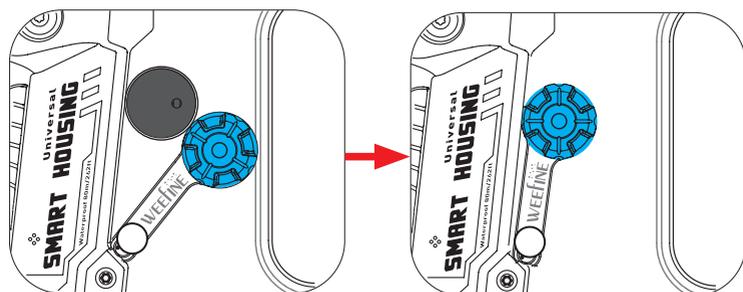
2. 青キャップ（防水用）への交換

水中で使用する前に、バキュームバルブの黒キャップを外し、青キャップ（防水用）に交換してください。（下図）

1. 黒キャップを、反時計方向に回し、バキュームバルブから外します。
 2. 青キャップを、バキュームバルブにかぶせ、時計方向に回してしっかりと締めます。
- * 黒キャップのまま水中で使用すると、ハウジング内に浸水します。
* 外した黒キャップは、紛失しないようにしてください。

3. 航空機での運搬

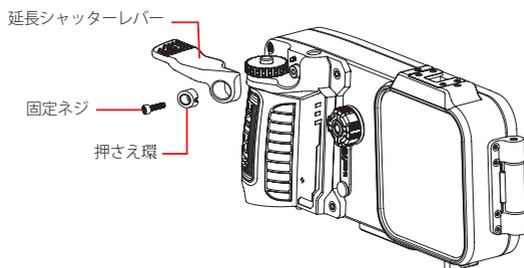
本製品を航空機に搭載する場合は、圧力差によるハウジングの損傷を防ぐため、青キャップから黒キャップに交換してください。



■ 延長シャッターレバーの交換方法

ダブルグリップトレーなどにハウジングを取り付けた場合、シャッターレバーを延長シャッターレバーに交換することで、グリップを握ったままでシャッターが切りやすくなります。

1. 付属の星型レンチで固定ネジを緩め、固定ネジと押さえ環を外し、シャッターレバーをハウジングから取り外します。
2. 延長シャッターレバーをハウジングに取り付け、正しい位置を確認してから、押さえ環を取り付け固定ネジを締めます。



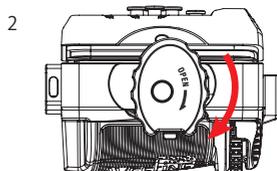
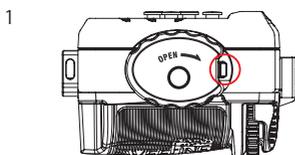
取扱方法

■ ハウジングの開閉

リアカバーの開け方

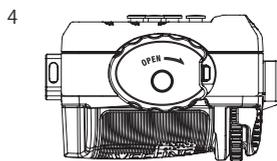
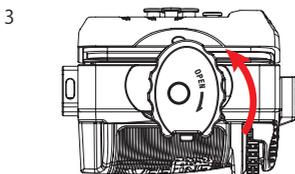
※以下の操作は湿気やほこりの少ない清潔なところで実施してください。

1. ダイヤルラッチのロック解除レバーを外側に押します。(図 1)
2. ロック解除レバーを外側に押しながらダイヤルラッチを「OPEN 矢印」の方向(時計回り)に回すとリアケースが開きます。(図 2)



リアカバーの閉め方

1. ダイヤルラッチを(図 3)の位置にします。
2. リアケースの凸部とダイヤルラッチの凹部を合わせ、リアケースを押し付けながらダイヤルラッチを「OPEN 矢印」と逆方向(反時計回り)に「カチッ」と音がするまで回します。(図 4)



▲ 注意

- ハウジングを開ける時は、完全に陰圧状態を解放してください。
- ハウジングが濡れているときは、よく水滴を拭き取ってから開閉してください。水滴が内部に垂れると、端子部分が錆びるなどの原因になります。

■ アプリケーションのインストール

WFH07X で撮影するには、専用アプリ「DiveIT」のインストールが必要です。

●インストール方法

1. 右の QR コードまたはハウジング内の QR コードを読み取ります。
2. 「DiveIT」をダウンロードします。画面の指示に従ってインストールしてください。DiveIT の機能は、12 ページの「DiveIT の機能」をご参照ください。



iPhone



Android

■ 充電方法

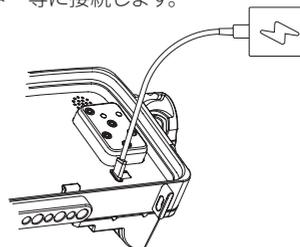
1. USB ポートの蓋を開き、付属の USB Type-C ケーブルを USB ポートに接続します。
2. USB Type-C ケーブルを、スマートフォン充電用の AC アダプター等に接続します。
3. 充電が開始されると、USB ポートにランプが点灯します。

赤：充電中

緑：充電完了

充電時間：約 3 時間 (AC アダプターにより変化します)

連続使用時間 約 24 時間

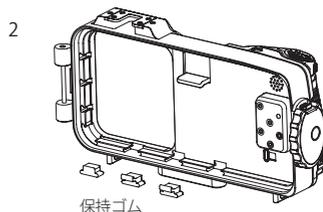
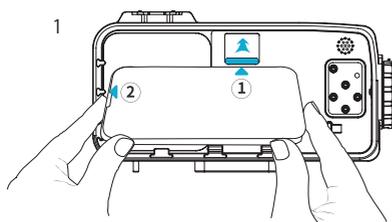


■ ハウジングの操作

●スマートフォンのセット

*セッティングの前に、スマートフォンのカバーやアクセサリは取り外してご使用ください。

1. スマートフォンの「DiveIT」を起動させます。
2. ハウジングのリアケースを開きます。
3. スマートフォンでストッパーを押し上げながら、ハウジング下部の保持ゴムの内側と、左側の保持ゴムに沿うように納めます。(図 1) スマートフォンのサイドのボタンが保持ゴムで押されてしまう場合は、ボタン部に当たる保持ゴムを外してください。(図 2)
4. ハウジングのリアケースを閉めます。



⚠ 注意

- スマートフォンのレンズおよびスクリーンはクリーニングクロスなどできれいに拭いておいてください。
- セットしたスマートフォンがハウジングの内の保持ゴム部に乗り上げないように注意してください。
- ロック状態のダイヤルラッチを回し、しっかりと固定されていることを確認してください。
- 髪の毛や糸くず等を挟んでいないか必ずハウジングの全周を見わたして確認してください。

●ハウジングの電源を ON にする

1. リアケースを開め、シャッターレバーを1秒間長押しすると電源が ON になり、インジケータが緑点灯します。「ハウジングが接続されました」と表示され、ハウジングとスマートフォンは Bluetooth で接続されます。
2. 操作部のチュートリアルが表示されます。(シャッターレバーか各ボタンを押してスキップが可能)
3. スマートフォンの電源が OFF になった時は、シャッターレバーや各ボタンを押すと ON になります。

バッテリー残量と Bluetooth の接続状態

インジケータ表示	バッテリー 20% 以上	バッテリー 20%未満
Bluetooth 接続中	緑ランプ点灯	赤ランプ点灯
Bluetooth 未接続	緑ランプ点滅	赤ランプ点滅

■ バキュームシステム

WFH07X には、バキュームシステムが装備されています。ハウジング内部を陰圧にすることにより、ハウジングの防水性を事前にチェックできるシステムです。

1. 操作部のチュートリアルの表示後、以下のように操作します。

ハウジング内部が加圧されていません。内部を陰圧にしますか？

はい

いいえ

コントロールホイールで「はい」を選択、MENU ボタンで決定



真空バルブキャップを外してください

バキュームバルブから青キャップをはずし、いずれかのボタンを押して「続行」
※青キャップを外さずに続行した場合エラーが表示され処理が中断します。

続行



エアを吸い出します

バキュームが始まり、陰圧進行状態を表示



真空バルブキャップを元に戻してください

バキュームバルブに青キャップを取り付けしっかりと締める
※青キャップでバキュームバルブが確実に蓋をされていることを確認

続行

▶(決定) ボタンを押して「続行」



水に入る前に3分待ち 密閉を確認

スキップ

スキップする場合は▶(決定) ボタンを押す

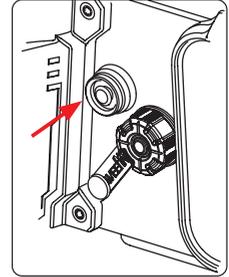
※カウントダウンが始まります。スキップすることも可能ですが、3分間状態を確認することをお勧めします。

2. カメラモードの画面になり、撮影ができます。

■ スマートフォンの取り出し

●ハウジングの電源を OFF にする

1. MENU ボタンを 3 秒間長押しすると、インジケーターが消灯します。
2. 「ハウジングが切断されました」が表示され、ハウジングの電源が OFF になります。



●バキュームシステムの解除

1. 水中での使用後は、ハウジングの水滴をタオル等で拭き取ります。
2. バキュームバルブの青キャップを外します。外す際は、青キャップの水滴がバキュームバルブ内に垂れないように注意してください。
3. バキュームバルブのボタンを押します。「シュ」と音が生じ、ハウジング内の陰圧状態が開放されます。(右図)

●スマートフォンの取り外し

1. ハウジングのリアケースを開きます。
*必ずハウジング内の陰圧を開放してから行ってください。
*リアケースを開く際、ケースの水滴がハウジング内に垂れないように注意してください。
2. ストッパーを持ち上げ、スマートフォンを取り出します。

■ DiveIT の機能

DiveIT には、下記の機能があります。

・カメラ

WFH07X で静止画／動画の撮影が行えます。

*一部有償の設定があります。

・ギャラリー

WFH07X で撮影した画像を再生します。

*画像の補正等は、有償になります。

・ダイブコンピューター

*表示されるデータは参考程度として、必ず別途ダイブコンピューターを使用してください。

*一部有償のモードがあります。

・ゲーム

3 種類のゲームが行えます。

・手信号

ダイビングで使用される手信号が表示され、水中でコミュニケーションを行うことができます。

・エマージェンシー

ダイビングの事故管理フローチャートが表示されます。

■ DiveIT の機能

専用アプリ「DiveIT」の機能は以下ようになります。(一部有償の機能があります)

各「項目／機能／設定／内容」の選択は、下記のボタン操作で行います。

▶ (選択／決定／進む) ▲ (移動) ▼ (移動) ◀ (戻る)

項目	機能	選択	内容	無料	課金	
カメラ	カメラ	静止画/動画	静止画/動画 切替	●		
	レンズ	広角(標準)	標準撮影	●		
		超広角	広角撮影		●	
		望遠	望遠撮影		●	
		顔	自撮り撮影		●	
	フィルター	水中レッド/白黒/スポットライト/沈潜/チューブ	フィルター効果		●	
		球体/反転/水平ミラー/垂直ミラー				
	モード(静止画)	JPEG	画質	●		
		RAW/RAW 48mp(iPhoneのみ)	画質		●	
		フラッシュ(オート/ON/OFF/ファイバー)		●		
		ショット(シングル/3x)		●		
	モード(動画)	HD	画質	●		
		UHD 4K (iPhoneのみ)	画質		●	
		HDR/ProRes/Log	画質		●	
		フレームレート(30/60/120/240 fps)	フレームレートの選択	●		
		安定化	ブレ補正	●		
	ズーム	イン/アウト/広角	画角調整	●		
	調整	露出(オート/ロック/+/ー)	露出調整	●		
		フォーカス(オート/ロック/焦点/+/ー)	ピント調整	●		
		WB(オート/ロック/+/ー)	ホワイトバランス調整	●		
		ISO(オート/ロック/+/ー)	感度調整	●		
	設定	オーバーレイ(日付/深さ/温度/ログ)		画像への情報表示		●
		画面	フレーム(OFF/80%/85%/90%)	撮影範囲	●	
			グリッド(OFF/ON/クロス)	格子/十字線の表示	●	
			回転(オート/縦向き/横向き)	撮影画像の向き	●	
			方位	方位を表示	●	
			フィット	フレームに画面を合わせる	●	
			拡大表示	画面を拡大	●	
		タイマー(OFF/5sec/10sec/30sec)	セルフタイマー	●		
トーチ(FULL/+/ー/OFF)		内蔵ライトの点灯	●			
ホイール(ズーム/レンズ/モード/光)		ホイール操作の選択	●			
プレビュー(Thumb/大/OFF/時間)		再生画面/時間の選択	●			
スリープ(1min/3min/5min)		スリープ時間設定	●			
単位(メートル/ヤード/ポンド)		単位選択	●			
ギャラリー		お気に入り	チェックON/OFF	お気に入り画像の選択	●	
		フィルター	水中レッド/白黒/スポットライト/沈潜/チューブ	画像へのフィルター効果	●	●
	球体/反転/水平ミラー/垂直ミラー		画像効果		●	
	調整	露出/コントラスト/明るさ/色相/彩度/鮮やかさ	画像への露出効果		●	
	ショー	チェックON/OFF	スライドショーの選択	●		
ダイブコンピューター	深度/潜水時間/最大深度/コンパス表示/水温/無減圧潜水時間/各種設定(一部課金有り) *表示は参考とし、必ず別のダイビングコンピューターを使用してください		●	●		
ゲーム	3種類のゲーム		●			
手信号	水中コミュニケーション用		●			
エマージェンシー	ダイビングにおける注意事項		●			

※ OS のバージョンによりメニューが表示されない/選択できない場合があります。

※有償機能の登録画面が表示された場合、シャッターレバー/かいずれかのボタンを押すと前の画面に戻ります。

■ 外部ライト

WEEFINE のリモートコントロール機能があるライトと光ケーブルで接続することで、ハウジング側でライトの光量を調整することができます。

1. 光ファイバーケーブルで、ハウジングの光ファイバーケーブルソケットとライトのリモートコントロールソケットを接続します。
2. カメラ>モード（静止画）>フラッシュ>ファイバーを選択
3. コントロールホイールで光量を調整できるようになります。

推奨光ファイバーケーブル

- # 50135 SEA&SEA 光ファイバーケーブル II S/2 コネクター
- # 50128 SEA&SEA 光ファイバーケーブル II M/2 コネクター
- # 50133 SEA&SEA 光ファイバーケーブル II L/2 コネクター

メンテナンス

■ご使用前に

1. スマートフォンを装填する前に、空の状態のハウジングを実際に使用する深度まで沈めて浸水の有無を確認してください。
 2. ハウジングの浸水事故は、おもに以下のケアレスミスが原因です。
 - Oリングの付け忘れ。
 - Oリングが溝に正しくはまっていない。
 - Oリングにキズ、ひびがある。または変質、変形している。
 - Oリングの溝もしくは接触面に、砂やゴミ、髪の毛などが付着している。
 - Oリング接触面やOリングの溝に傷がある。
 - ハウジングを閉じる際にストラップや除湿剤などを挟み込んでしまう。
- ※ハウジングに水漏れがある場合、上記の原因を取り除き再度テストを行なってください。

▲ 注意

事前テストは実際に使用する深度での実施が最適です。ただ、その深度を確保するのが難しく、より深い深度での浸水テストとなっても、必ず実施してください。事前テストを実施したにもかかわらず浸水が確認される場合は、製品の使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサービスまでご相談ください。

■ダイビング前のチェック

ダイビングでご使用になる前に、以下の最終チェックを必ず実施してください。

1. 水を張ったカメラ洗い桶に（なければ水面にて）、ハウジングを水平の状態でゆっくりと水に沈めます。
2. 最初は3秒間水に入れ、ハウジング本体から気泡が上がってこないか確認します。Oリングの付け忘れやストラップなどの挟み込みがあれば、わずか3秒でも浸水します。
3. 同様に30秒／3分とチェックを行います。
4. ハウジング本体から継続的に気泡が上がる場合は使用を中止し、再度Oリングのチェックをしてください。

▲ 注意

ハウジングを持ったままボートや高所からエントリーするなど、ハウジングの一方に強い水圧がかからないよう注意してください。浸水のリスクが高まります。

■ Oリングのメンテナンス

1. 本製品付属のOリングリムーバーを、Oリングと本体の溝の間に差し込みます。
2. Oリングリムーバーの先端でOリングを引っ掛け、溝からOリングを外します。
3. OリングとOリング溝に付着した砂、塩、古いグリスを除去します。Oリング溝は綿棒等を使うときれいに清掃できます。指の感触や目視によってキズやひび割れなどをチェックします。
4. キズやひび割れなどがある場合はOリングを交換します。
5. 本製品付属のシリコングリスを米粒大ほど指先に取り、3本の指で挟むようにOリング全体に均一に塗ります。その際、力を入れてOリングを引っ張らないようにしてください。グリス自体には防水性はありませんが、グリスの量が少ないとOリングが溝の中で部分的にねじれ、浸水の原因となります。
6. Oリングを溝に収めます。その際、Oリングがねじれたり、はみ出したりしないよう注意してください。
- 7.ハウジングを閉じる際に、もう一度Oリング面とOリング接触面を目視および指でなぞって、ゴミや髪の毛などの付着がないか確認します。

⚠ 注意

- Oリング面に小さな傷やひび割れなどがある場合、そのOリングは絶対に使用せず、すぐに新しいOリングと交換してください。
- Oリング溝、またはOリングが当たる接触面にも砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。また、傷やひびなどがないかしっかり確認してください。
- OリングやOリング溝、Oリング接触面のチェック、グリスアップは、ハウジング開閉時に毎回実施してください。
- 本製品のOリングはシリコンタイプを使用しています。グリスアップは必ず付属のOリンググリスを使用してください。付属のグリス以外を使用するとOリングが膨張し、防水性能を損ないます。

■ 使用後のメンテナンス

海で使用した後は以下の手順で塩分を洗い流してください。

1. 真水を溜めたカメラ専用の洗い桶や洗面器などにハウジングを浸けます。
2. 各レバーやボタンを真水の中で操作し、塩分を洗い流します。バキュームバルブのキャップはまだ取り外さないでください。
3. できれば、10～20分間、洗い桶に浸しておきます。
4. 真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。強い水流を一定方向から当てると浸水の原因となりますので、絶対におやめください。
5. 水洗い後は、乾いたやわらかい布等で水気をよくふき取ってください。
6. バキュームバルブの青キャップを取り外し、バルブのボタンを押して陰圧を開放してからハウジングを開けてください。
7. また、必ずご自宅に戻ってからのお手入れも実施してください。後のトラブルにつながるおそれがありますので、現地での塩抜きのみでメンテナンスを終了させないでください。
8. 長期間使用しない時は、付属のシリコングリスをOリングに薄く塗ってから保管してください。Oリングは1年毎に交換されることをおすすめします。また、ご使用頻度により2、3年に1度のオーバーホールをおすすめします。

⚠ 注意

- 洗い桶に浸している時には、絶対にハウジングの開閉はしないでください。
- 海で使用後に放置すると、細かいすき間に残った塩分が結晶となり、水に溶けなくなってしまいます。結晶化した塩分はOリングを押し上げ、浸水の原因となります。
- 使用後はハウジングの接合部などに水滴が残っています。ハウジングを開けた際の水滴、髪の毛やウエットスーツからの水滴にご注意ください。
- 炎天下での直射日光による乾燥や、ドライヤーなどによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対におやめください。
- ハウジングを直射日光の当たる場所に放置しないでください。また、真夏の車内など高温になる場所への放置、保管はおやめください。内部温度の上昇により、ハウジングやスマートフォン本体の故障の原因となります。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学洗剤でハウジングをクリーニングしないでください。